

講演

ダイバーシティと サステナビリティ経営



兵頭 誠之 氏(ひょうどう まさゆき)

住友商事株式会社
代表取締役 社長執行役員 CEO

住友商事の兵頭誠之です。本日は、仕事を通してご縁のあった石塚さんからこのような機会をいただき、誠にありがとうございます。「外国につながるのある高校生たちの『活躍する力』を拓く」というテーマで語るということで、本日視聴されている方は、学生さん、NPOの方、企業の方、あるいは教育関係者の方々と、多岐にわたると伺っています。

住友商事グループは、さまざまな国々の役職員が力を合わせ、企業活動を展開しています。そういった中、どのようなことを考えながら経営を行っているのか、事業経営を支える人材育成に何を重視しながら取り組んでいるのか、主に「ダイバーシティ&インクルージョン」と「サステナビリティ経営」の2つの切り口でご紹介しながら、皆さまのご参考になるような話をできればと思っています。

まず、自己紹介を兼ねて少し自身の話をさせていただきますと、私は住友商事に1984年に入社し、長らく海外の発電事業を手掛けてきました。最初の駐在はヨルダンでした。当時の人口が800万人くらい、今は1,000万人くらいまで増えているでしょうか、決して大きな国ではありません。しかし中近東における緩衝国として、非常に重要な役割を果たしている国です。実はヨルダン国民の約8割は、パレスチナ難民として西海岸から来た方々が占めています。

私はそこで発電所の建設に携わりましたが、当時事務所で働いていた従業員は、全員パレスチナ人でした。難しい状況下、しっかりと学びを重ねた上で、会計士になった方、ビジネス現場を支える重要な役割を担っている方々もおられました。こうした方々に支えられながら、若かった私は発電所の完成を目指しました。彼らには大変感謝しています。

その頃、私のドライバーを担ってくれた方とは、仕事の後にもいろいろな話をしました。彼自身、思い立ってもう一度会計の勉強をし直し、ドライバーをしながら会計士の資格を取り、その後ヨルダンの企業でしっかりと働いて定年を迎えられた、という連絡を受け、非常にうれしく思ったことを憶えています。

また、私の子どもたちは(男の子1人、女の子1人)、小さいながら私と一緒に海外で生活しましたが、帰国したときにいじめられました。それぞれ苦労していたのを、親として横で支えてきました。今はふたりとも成人して家族を持ち、元気に生活していますが、当時、ストレスのある環境下で、大人が想像する以上に大変な思いをしていたと思います。

ダイバーシティと サステナビリティ経営

ただ、そういう中でも、安心できる環境でしっかりと教育を受けることさえできれば、豊かでたくましい、力強い人生を歩んでいけるのです。教育現場の皆様は、私の子どもたちが海外でお世話になったときのような状況で、外国ルーツの子どもたちのサポートに取り組んでおられると伺っています。本当に頭が下がります。

さて、本日は、「ダイバーシティとサステナビリティ経営」と題し、こちらの流れに沿って、住友商事がグローバルで推進する活動についてご紹介します。当社が取り組むサステナビリティ経営とダイバーシティに触れながら、多文化共生社会への取り組みについてもお話ししたいと思います。

Contents

<p style="margin: 0;">ダイバーシティとサステナビリティ経営</p>	1	住友商事グループのサステナビリティ経営
<p style="margin: 0;">外国につながる高校生たちの「活躍する力」を拓く</p>	2	住友商事グループにおけるダイバーシティ
<p style="margin: 0;">すべての子どもたちが、夢に向かって自由な選択ができる社会へ</p>	3	日本社会におけるダイバーシティ 住友商事の社会貢献活動プログラム「100SEED」 ～多文化共生社会の実現に向けた教育支援～

◆ Sumitomo Corporation | Enriching lives and the world
© 2021 Sumitomo Corporation 2

まず、住友商事の業容についてご説明します。現在、全世界で66カ国・地域、135拠点のオフィスを構えています。連結ベースでは935社が81カ国で事業を展開しており、約7万人の社員が事業に参画しています。

住友商事グループのサステナビリティ経営

グローバルネットワーク

海外地域組織は広域4極体制で運営しています。

事業所数

135拠点

66カ国・地域

連結対象会社数

935社

81カ国・地域

(2021年3月31日現在)

*事業所の所在地にマークしています。

◆ Sumitomo Corporation | Enriching lives and the world
© 2021 Sumitomo Corporation 4

ダイバーシティと サステナビリティ経営

ご覧のように、幅広いビジネス分野で事業活動をおこなっています。

住友商事グループのサステナビリティ経営

6つの事業分野と次世代事業の創出

住友商事グループは、事業部門、イニシアチブ、そして国内・海外の地域組織が連携し、グローバルに幅広い産業分野で事業活動を展開しています。強固なビジネス基盤と多様な高度な機能を戦略的・有機的に統合することで、変化を先取りし、既存の枠組みを超えて社会課題を解決し、新たな価値を創造していきます。



Sumitomo Corporation | Enriching lives and the world

© 2021 Sumitomo Corporation

5

左上の金属事業。「鉄は国家なり」という言葉がありました。今も非常に重要な素材産業ですが、これに関連する事業です。

右隣が輸送機・建機。世界を代表する輸送機製造事業群が、現在の日本の経済全体を大きく支えています。これに関わる事業を広く展開しています。写真は、北欧での駐車場事業です。

その右がインフラ事業です。写真は風力発電の写真で、世界中で展開しています。

一番右がメディア・デジタル事業。J:COMというケーブルテレビの事業なども展開しています。

左下は生活・不動産事業で、全世界でご愛顧いただいているバナナの供給なども手掛けています。

その右隣、資源開発の分野でも事業を行っております。

最後は、エネルギーイノベーション・イニシアチブです。これからの脱炭素化に向けた取り組みといった、エネルギー分野でもビジネスを展開しています。

ダイバーシティと
サステナビリティ経営

その会社が、どういったことを考えながらビジネスを展開してきたのか、このページにまとめています。

住友商事グループのサステナビリティ経営

住友の事業精神、住友商事グループの経営理念、マテリアリティ

住友商事グループの価値判断のよりどころは、「住友商事グループの経営理念・行動指針」にあります。

住友の事業精神

「信用・確実」「浮利を追わず」「進取の精神」「自利利他公私一如」

住友商事グループの経営理念【目指すべき企業像】

私たちは、常に変化を先取りして新たな価値を創造し、
広く社会に貢献するグローバルな企業グループを目指します。

マテリアリティ

サステナビリティ経営の高度化

- ◆ 持続可能な社会の実現へ強くコミット
- ◆ 将来の事業環境変化を見通した経営判断
- ◆ プロアクティブかつ包摂的な取り組みを実施

Enriching lives and the world

Sumitomo Corporation | Enriching lives and the world

© 2021 Sumitomo Corporation

6

住友商事は、今年、創立102年を迎えました。もともとは大阪の北港、今はユニバーサルスタジオ・ジャパンがある辺りに、港を開く特定目的会社として誕生しました。実は戦前までは、住友グループでは商事活動はご法度で、我々は主に不動産を中心に事業を展開しておりました。

左上にある「信用・確実」「浮利を追わず」「進取の精神」「自利利他公私一如」という言葉で表される住友の事業精神。自分たちの利益だけではなく社会、国家の利益を生み、公私ともに利を得て1つの事業として成り立つ、これが住友の事業精神の本質なのですが、これを大切に守って展開しています。

これらをわかりやすく表現し、我々が社会課題の解決に取り組んでいく姿勢、価値観を、われわれのビジネスに直結する形でまとめたものが「マテリアリティ（重要課題）」です。

左側に英語でEnriching lives and the worldとあります。最近ではテレビでも、このコーポレートメッセージをお伝えしています。これは、過去の歴史を振り返りながら、我々が目指す、会社としてやり遂げることは何なのか、シンプルな言葉で、しかも全世界に通ずるように英語で、全世界の81カ国以上の従業員、特に若手が中心になって紡いだものです。

Enriching lives and the worldは、非常に簡潔ですけれども、深みと広がりのある言葉だと私は考えています。これを実現するためには教育、特に子どもたちの教育が非常に大切だと考えているところです。

ダイバーシティと サステナビリティ経営

ここからは、「サステナビリティ経営の高度化」についてご説明します。

住友商事グループのサステナビリティ経営

6つの重要社会課題の特定と、サステナビリティ経営の高度化

住友商事は、2020年6月、社会とともに持続的に成長するためのサステナビリティ経営の高度化の一環として、当社に関わりが深い6つの重要社会課題を選び、それにひも付く長期目標を定めました。

100SEE
Our Commitment to Quality Education

● 総合商社の多様な人的リソース ● 多彩なビジネスノウハウ ● グローバルネットワーク
● 事業パートナーや取引先とのビジネスリレーション

Sumitomo Corporation | Enriching lives and the world
© 2021 Sumitomo Corporation

参考：サステナビリティ経営の高度化 <https://www.sumitomocorp.com/ja/jp/sustainability/management> 7

今、気候変動を始めとした社会課題がますます深刻さを増して、社会の持続性への重大な脅威となっており、我々企業にも、この克服に対するより積極的な貢献が求められています。こうした背景から、世界が直面する社会課題の中から、当社が取り組むべき6つを「重要社会課題」として特定し、昨年度発表しました。

真ん中に「住友の事業精神」を据え、右側に「社会の持続可能性」をしっかりと担保するための3つのテーマ、左側には「社会の発展と進化」、英語で言いますとprosperityをしっかりと進めるための3つのテーマ、合計で6つ、全ての事業推進においてこれらを考えながら経営を進める。これが住友商事の「サステナビリティ経営の高度化」です。1つずつご説明します。

1つ目は、「気候変動緩和」。住友商事経済圏で、2050年の事業活動のカーボンニュートラル化を目標として掲げました。また、海外における発電や発電所建設の事業に携わってきましたが、石炭火力からの撤退も推し進めています。撤退するだけでなく、代わりに再生可能エネルギーをしっかりと開発していこう、という具体的な取り組みを進めているところです。

2つ目は、「循環経済」。リサイクル、省資源型の技術や商品への転換や、天然資源の持続可能な調達に取り組むことで、持続可能な資源循環の実現に貢献します。スーパーマーケットではフードロス削減、グリーン経営を推し進めているところです。

3つ目は、「人権尊重」。これは最も大事なテーマのひとつであると思います。人権が毀損されることをしない、させない、許さない、この「3ない原則」を徹底してやっていこうという固い決意を掲げているところです。

左側に行って、4つ目は、「地域社会・経済の発展」。これは、繁栄を遂げるために最も大事なことだと考えています。住友商事の利益だけを考えるのではなく、その事業を通して地域の発展につなげる。例えばアジアの発展途上国などで我々が展開している工業団地です。その地域社会が必要とする産業の誘致を行うために工業団地を開発し、様々な国の

ダイバーシティと サステナビリティ経営

企業に進出いただいて、その地域社会の経済をより豊かにしようという、高い志に基づいた事業も展開しているところです。

5つ目は、「生活水準の向上」。先ほどご紹介したJ:COMのケーブルテレビのサービスに加え、地域のローカル5Gや、遠隔診療も含めた地域医療サービスを、よりよい形で提供できるよう努力を重ねています。

最後に「良質な教育」についても、経営の一つの目標として掲げています。これはそれぞれのビジネスを通じて、われわれ自身が取り組む従業員の教育もさることながら、非営利の社会貢献活動事業として取り組んでいることがあります。後ほど、100SEEDという事業について、ご紹介したいと思います。

次に当社の「ダイバーシティ」についてご説明申し上げます。

住友商事グループにおけるダイバーシティ

グローバル人材マネジメントポリシー

Global HR Management Policy | Diversity & Inclusion |

| 目指す個人の姿 | Top Tier Professionalism

グループの理念やビジョンに共感し高い志を持ち
自律的な成長を続け進取の精神で
グローバルフィールドで新たな価値創造に挑戦する人材

| 目指す組織の姿 | Great Place to Work

個々人がイキイキと新たな価値を生み出し続ける
Great Place to Workをグローバルに築き上げ世界に
人材を輩出する「挑戦の場」として選ばれ続ける組織

⇒新たな価値を創造し、社会とともに持続的に成長する！

◆ Sumitomo Corporation | Enriching lives and the world 参考：グローバル人材マネジメントポリシー <https://www.sumitomocorp.com/ja/jp/about/talent/policy> 11

© 2021 Sumitomo Corporation

世界80カ国以上の国々からの役職員が集まって、住友商事グループ全体の事業を推進しています。それぞれが、個性と力を発揮することで、住友商事のグローバル経営を今後も維持拡大できると、私は強く確信しています。多様な個性を持つ人材は、我々がもっとも大切にすべき原動力です。ここに集う役職員全員が力を合わせるために、企業としてどのように人材育成に取り組むべきか。この核にあるのがD&I（ダイバーシティ&インクルージョン）です。我々が考えるD&Iを推進するために、目指す理想は何なのか、この目標を共有することが最も大切だと、私は考えました。日本社会が抱えるD&Iの課題、米国社会の抱えているD&I、先進国、発展途上国、それぞれの地域社会が抱えている課題は異なります。それぞれに我々の組織と事業があります。一つの目標・理想を語ることは非常に難しいことですが、これ抜きで努力を重ねても、実現は非常に難しいことです。

そこで、住友商事グループでは「グローバル人材マネジメントポリシー」を策定しました。皆で理想を語り、共有できた理想をシェアして、それぞれの組織で現実とのギャップ（課題）を洗い出します。課題を洗い出せれば、解決に向け具体的な施策を立てて、優先順位をつけながら結果を出す努力を重ねていくことができます。D&Iで取り組むテーマは日本と米国では異なります。アフリカの事務所でも異なります。でも、全員が関わる取り組みです。

ダイバーシティと
サステナビリティ経営

住友商事グループにおけるダイバーシティ

ダイバーシティ&インクルージョンの本質

- 心理的・物理的な「壁」を取り払う
- モノカルチャー／居心地の良い場所からの脱出
- 心理的安全性の確保

D&Iの本質は「謙虚さ＝相手の理解・リスペクト」

◆ Sumitomo Corporation | Enriching lives and the world
© 2021 Sumitomo Corporation

12

また、性別や宗教、属性のダイバーシティだけではなく、一人ひとりの考え方にも違いはあります。それを我々は「深層的ダイバーシティ」と呼んでいますが、これらを相互に認めながらリスペクトし合い、違いを認めたくえで求心力を持って事業活動を行っていかう、という取り組みを進めています。

それでは、日本社会におけるダイバーシティに目を転じてみたいと思います。

そこには、先ほど、石塚さんからご紹介がありました通り、海外に繋がりのある高校生の教育の課題があると伺っています。

日本社会におけるダイバーシティ

日本社会におけるダイバーシティの課題

項目	日本語指導が必要な高校生	日本の高校生全体
高校進学状況 (高校生数)	33.8% ^{※2}	64% ^{※3}
高校進学率	98.4% ^{※4}	
高校中退率 ^{※1}	9.6%	1.3%
就業者中 非正規就職率 ^{※1}	40.3%	4.3%
進学も就職もしていない ^{※1}	18.2%	6.7%
高校卒業生 進学率 ^{※1}	42.2%	71.1%

※1: 調査対象は、高校進学率の調査対象ではないため、高校生数+中学生数から推計
※2: 調査対象は、日本語指導が必要な高校生数
※3: 調査対象は、日本の高校生全体
※4: 調査対象は、日本の高校生全体

少子化が進行する中、外国人登録者数は10年間で34%増加、約300万人に達し、外国人と家族の定住化が進んでいます。

◆ Sumitomo Corporation | Enriching lives and the world
© 2021 Sumitomo Corporation

14

ダイバーシティと サステナビリティ経営

住友商事には「100SEED」という社会貢献活動プログラムがあります。住友商事として「良質な教育」に、社会貢献活動として取り組んでいこう、というプログラムを、全世界同時に立ち上げています。「世界共通のテーマで取り組むとしたら何が一番大事なのか」と、多くの国々の社員が議論して結論を出したテーマが、SDGsのNo.4「良質な教育」でした。

日本社会におけるダイバーシティ

100SEED: 世界各地で活動がスタート

100SEED（ワンハンドレッドシード）は、2019年の住友商事創立100周年を機に立ち上げた、グローバルで取り組む社会貢献活動プログラムです。SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」を共通テーマに、世界各地の社員が、地域の課題に根差したさまざまな活動に、取り組んでいます。

4 質の高い教育をみんなに

INDIA
助けを必要とする子供たちに、オンラインで学びを

SOUTH AFRICA
水不足に直面する学校に水を届ける - 「フレイボンプ」

THAILAND
助けを必要とする農村地の小学生にも、学びの環境を - 「ボタンアップ」

多文化共生

JAPAN
外国ルーツの子どもたちが、安心して学べる社会を

キャリア教育

JAPAN
未来を考えるきっかけづくり - キャリア教育支援「Mirai School」

プロボノ

JAPAN
教育課題に取り組むNPOをサポートする - 「教育支援プロボノ」

100SEED
of Sumitomo Trust Bank

Sumitomo Corporation | Enriching lives and the world

100SEED特設サイトで世界各地の活動を発信中

<https://www.sumitomocorp.com/ja/jp/100seed/activities/index.html>

15



プロボノ支援先
李 澍 さん
特定非営利活動法人 global
コーディネーター

子どもの頃の悩み
中1の時に中国から来たんですけど その後すぐ高校受験で

100SEED

日本においては、「多文化共生」を活動テーマの一つに選びました。本日は、具体的な活動の紹介ビデオをご用意しましたので、ご覧ください。

(<https://vimeo.com/594392060/21703830f5>)

ダイバーシティと
サステナビリティ経営

日本社会におけるダイバーシティ

すべての子どもたちが、夢に向かって、自由な選択ができる社会へ

ダイバーシティこそ、イノベーションや新たな価値創造の源泉

多様性の中で育まれる、子供たちの未来に期待

多様な「個性」をもつ子供たちが、持てる力を発揮できる社会へ

◆ Sumitomo Corporation | Enriching lives and the world
© 2021 Sumitomo Corporation

17

最後にまとめさせていただきます。やはり企業、地域社会のいずれの場合も、ダイバーシティこそがイノベーションや新たな価値創造の力の源泉であると、私は確信しています。多様性の中で育まれる子どもたちの未来に、我々大人たちは大いに期待しなければなりません。多様な個性を持つ子どもたちが、持てる力を発揮できる社会、日本もそういった社会の歩みを進めていければと、心から祈念しています。

本日の皆様の活発なご議論が今後の活動の発展につながることを祈念し、私の結びとさせていただきます。本日は、どうもありがとうございました。

補足資料

100SEED : 「多文化共生社会を目指す教育支援」の概要



公益財団法人日本国際交流センター（JCIE）が運営する「外国ルーツ青少年未来創造事業」と連携し、日本に住む外国ルーツの子どもたちの教育課題に取り組む7つの非営利団体に対し、当社グループ社員が、プロボノ支援や、子どもたちの学習支援を行っています。

（公財）日本国際交流センター（JCIE）との連携

- JCIEが、「休眠預金等活用法」に基づいて運営する助成事業「[外国ルーツ青少年未来創造事業](#)」と連携。
- 上記事業の助成対象として、公募で選ばれた7団体に対し、社員が支援活動を行うもの。のべ103人の社員が参加。

◆ 支援活動の内容 :

- ① **非営利団体に対する 組織・事業運営支援**
(広報物制作、HPやSNSでの情報発信支援、営業用プレゼン資料作成、規程類の整備、イベント企画等の運営側のサポート)
- ② **外国ルーツ青少年に対する 学習支援**
(団体が運営する日本語や学校教科の学習支援活動に参加)

「多文化共生社会を目指す教育支援」の運用体制

住友商事グループ参加社員

JCIE

助成金
・伴走支援

→

・ABCジャパン
・glolab
・YSC
・さほうと21
・アレッセ高岡
・DIVE.tv
・多文化ふらっと

←

プロボノ支援
・学習支援

◆ Sumitomo Corporation | Enriching lives and the world
© 2021 Sumitomo Corporation

19